

【施設の管理運営方針・管理方法】

山の手コミュニティ協議会の設立目的である「矢代田小学校区の住民が互いに連携・協力し、区自治協議会への参画、行政との協働などにより、自主的、主体的に活動を行う。それにより校区のコミュニティにおける共通の課題解決を図り、活力ある住みよい地域社会づくりの推進に資することを目的とする。」を理念に、地域とともに小須戸運動広場を管理運営します。

- 地域住民並びに区内外への健康増進・心身のリフレッシュ、生涯スポーツの場となるようスポーツの普及・振興の場づくりとして施設の管理運営を行います。
- 小須戸地区ふれあい会館の指定管理業務とあわせ、運営ノウハウを最大限に活かし、効率的な施設運営を実施します。
- 施設利用の平等性・公平性を確保し、利用者への快適な施設環境づくりの積極的に取り組みます。
- 利用者の安全・安心・快適を目指し、日々の点検やメンテナンス等を計画的に実施します。

【利用者サービス・利用者増加の取組】

- 人的サービス・業務的サービス・施設サービスの三つのサービスを必要に応じて組み合わせながら、誰もが気持ちよく利用できる施設にします。
- 施設整備や整理整頓を心がけ、安心安全で、かつ利用者が全力にプレーできる環境を提供します。

【利用者ニーズの把握とその反映策】

- 利用者との対話を重視し、また利用者アンケートを実施して積極的に利用者の声を吸い上げ、施設サービスに反映させます。
- 毎月1回、職員全員でミーティングを行い、ニーズ・問い合わせ・苦情への対応等情報の共有を図ります。
- 過去3年間の年間平均利用者数14,175人を基準に前年比2%アップを目標とします。

年 度	目標利用者数(人)	野球場	テニスコート	ゲートボール場
平成29年～令和元年平均	14,175	5,120	8,652	402
令和5年	14,459	5,223	8,825	410

【管理経費削減への取り組み】

- 熟知した地区内の住民・ボランティア団体を施設管理に積極的に活用して維持管理経費の削減に取り組みます。
- 日常点検の徹底により効率的で適正な節約に努めます。
- 自動販売機を設置し、指定管理料の削減と利用者へのサービス向上を図ります。

【従事者の雇用・労働条件・人員配置】

- ローテーション勤務を基本とし、複数人を職員として配置します。また職員は早番・遅番勤務毎に1名配置の2交代制とし、運營業務にあたります。

全職員7人 経理職員1人 施設管理職員6名
業務分担 予約受付・パソコン操作・環境整備

勤務体制 早番・遅番の2交代制
8:30~16:00 実働7時間
15:45~21:00 実働5時間15分

- 交代時には、職員同士が重なるように出・退勤して円滑な引継ぎをします。その際、業務や利用者ニーズ等の連絡事項を伝達して、情報を共有します。
- 全職員が労働関係法令を遵守するとともに、地元住民の雇用を最優先し、地域実情に則した施設運営の実現を目指します。

【人員育成の取り組み】

- 安心・安全で快適な施設運営を実現するための研修、施設特性等に合わせた専門研修を計画的に実施して職員のスキルアップに努めます。

【安全管理の対策・緊急時の対応】

- 施設・設備の経年劣化や消耗状況の日常点検および専門業者による点検を行い、小さな危険も残さないよう、応急処置を講ずるとともにその状況を速やかに報告します。
- 定期的なAED講習会、年2回の避難訓練や防火訓練等により職員の危機管理意識を高め、施設利用者の安全確保に努め、利用環境を確保します。
- 危機管理マニュアルに基づき、危機管理体制を確立していきます。

【個人情報保護等の取組・関係法令の遵守】

- 職員全員が施設の管理運営に関する関係法令を熟知し、遵守するよう徹底します。
- 個人情報マニュアルを作成し、個人情報保護の重要性を理解し適切に取り扱うよう周知徹底します。
- 適法かつ公正な手段により反社会的団体との接触や反社会的活動への便宜提供禁止を徹底します。

【地域との連携・社会貢献活動への取組】

- 行政・地域団体等との連携によって豊かで潤いのあるまちづくりに取り組みます。
- 地元で築いてきたスポーツ団体との協力関係を活用しながら、新たな自主事業に取り組みます。
- 小須戸地区スポーツ振興会と連携して、健康増進と地域連携に力を入れた事業を取り入れます。
- 近隣のスポーツ施設との連携を強化し、スポーツのすそ野を広げる活動を推進します。
- 小中学校のインターンシップを積極的に受け入れ、地域を愛する心と地元に貢献する人材育成にも寄与していきます。